

安全・安心を守る会の活動

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

南区	小学校区・地区名	第三藤田学区	世帯数	1,146 世帯	人口	2,694 人
----	----------	--------	-----	----------	----	---------

■組織の概要

当学区は国道30号線の東に位置し、妹尾川を挟み北（錦六区）と南（都六区）に地区が大きく2つに分かれた岡山市南区の穀倉地帯です。全域が海拔0mという地区で巨大地震が起これば、液状化・津波などによる甚大な被害が予測されています。当学区の安全・安心を守る会（安全・安心ネットワーク）は、独自の活動は行っていませんが、連合町内会・自主防災協議会・交通安全母の会等の各種団体の事業ならびにイベント等に協力する形で事業を行っています。

■活動の取組内容

現在はコロナ禍のため、各種団体の事業・イベント等は開催されていません。しかし、防災活動として、コロナ禍以前には、年1回、自主防災協議会・連合町内会共催の「避難所宿泊体験会」を4年間連続して開催しました。災害時に避難所となる、第三藤田小学校の体育館で、各自非常用持ち出し用品を持参して、実際に一泊しました。水・食料・電気のない状況の設定で行ったり、炊き出しを行ったりするなど、その都度内容を変えてきたこともあり、お年寄りから幼児まで多くの参加がありました。実際に宿泊して体験することで、次回の「避難所宿泊体験会」に必要な物がわかり、貴重な体験ができたと思っています。



【避難所宿泊体験】



【炊き出し】

また、「防災訓練」を、別の日程で、年1回実施したり、「防災講演会」を実施したりした年もあります。

さらに、コロナ禍の中でも、自主防災協議会に

よる「防災新聞」を年1回発行し、各戸配布を行い防災意識の向上に努めています。

他にも、地域の安全・安心を守る活動として、藤田安全パトロール隊（第三学区隊員）および交通安全母の会による、小中学校・興陽高校の児童・生徒が安全に登下校できるように、交通整理や見回り活動を行っています。興陽高校・小学校・保育園による三校合同避難訓練開催時には、パトロール隊員が指導と誘導等を実施しています。



【防災新聞の表紙】

よる「防災新聞」を年1回発行し、各戸配布を行い防災意識の向上に努めています。他にも、地域の安全・安心を守る活動として、藤田安全パトロール隊（第三学区隊員）および交通安全母の会による、小中学校・興陽高校の児童・生徒が安全に登下校できるように、交通整理や見回り活動を行っています。興陽高校・小学校・保育園による三校合同避難訓練開催時には、パトロール隊員が指導と誘導等を実施しています。

■活動の効果と今後の取り組み

第三藤田学区全体の防災活動として、「避難所宿泊体験会」「防災訓練」「防災講演会」等、内容を工夫して繰り返し行うことにより、住民の防災意識が向上しています。

コロナ禍の状況を見ながらにはなりますが、これらの行事を復活させるとともに、現在の活動を継続していく予定です。

■工夫していること

第三藤田学区コミュニティ協議会が現在、年1回発行している広報誌「三藤コミュニティだより」を全戸に配布して、学区の情報を住民に発信しています。



【防災訓練】



【防災講演会】



【三藤コミュニティだよりの表紙】